

不二速報



発行日 2015年1月20日

第4号 委員長挨拶・スキーと温泉の集い報告号

静岡： 内線 2790 E-mail suu@jade.dti.ne.jp
浜松： 内線 3910 E-mail suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

2015年 教職員組合から組合員の皆様へ年始のご挨拶 執行委員長 田島 慶吾

1. 最初の形式的な年始の挨拶

昨年は静岡大学教職員組合へ格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年も組合活動を一層活性化し、組合員の権利擁護と利益実現のために尽力いたしますので、昨年同様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 本音

昨年、過半数代表者、教職員組合の強硬な反対を押し切り改正された就業規則により、平成27年1月1日より55歳超の教職員の昇給が事実上停止されました。この停止の威力がどれほどのものかは本年最初の学科会や教授会で具体的な数値を挙げられ説明されたことでしょうか。本学では教員の定年は65歳です。10年間の昇給がなく、物価上昇分だけ実質賃金は下がり続ける、というのは異常な事態です。

3. 平成27年1月1日から始まった「55歳超の教職員の昇給停止」

職場で55歳超といえば、職歴からして重要な仕事を任される年齢です。ところが静岡大学では、重要な職責にある教職員がどれほど頑張っても、昇給はありません。経済学ではインセンティブ(誘因)という言葉を使いますが、これはある種の俸給制度を導入することにより、働き手はこの制度に反応して(「誘因され」)働き、その結果より多くの給与を得るように努力し、同時に、この努力により最大限の生産性が実現される、という文脈で使用されます。例えば、成果主義は、能力の高い人がその能力に見合った報酬を与えられることにより、その能力が最大限に発揮され、成果を得る、という報酬制度です。また、日本の大企業で導入されていた終身雇用、年功賃金制も、雇用を安定化させることにより、働き手はこの雇用の保障に応え、長期的な視点から最大の生産性を実現するように促す制度です。あやまった報酬制度の導入はこのインセンティブ(誘因)を消滅させます。能力の優れた人もそうでないひともし一律同一賃金であれば、能力の優れた人は働く気が失せるでしょう。また、雇用の安定という安心して働く環境下で働くことを好む人は、短期的な成果をだせと要請する報酬制度の下ではその力を発揮できません。

4. 「55歳超の教職員は働くな」というメッセージ

以上のように、新たな報酬制度の導入は、プラスとマイナスの面があり、これが報酬制度の設計を難しいものとしています。しかしながら、プラスの面のない、マイナスのインセンティブ効果しかもたらさないという希少な報酬制度があります。今回の55歳超教職員の昇給停止です。この給与制度の意味するところは、成果を上げて昇給しないという強烈なメッセージにあります。「どんな成果をあげても昇給しない

(次ページに続く)

報酬制度が存在することを私は寡聞にしてはじめて知りました。全世界の経済学者を唖然とさせるこの新たな報酬制度は、55歳超の教職員は働くなというメッセージ、負のインセンティブを与えるべき導入されたものです。

5. 「働いているように見せかける」

ソ連をはじめとした旧社会主義諸国の崩壊の原因は、官僚制とインセンティブ構造を無視した給与制度にあったと言われています。職場でどんなに働いても、働かない人と給与は同じ、会社がどれほど生産性を挙げても、利潤はなし、といった初期の社会主義計画経済の諸施策が、人々の労働意欲を削ぎ、生産性を悪化させ、経済の崩壊へと導いたかは、全てこの誤った「どんな成果をあげても昇給しない」報酬制度の導入にその原因があります。

55歳超の教職員がどれ程重要な職務を任せられ、どんな成果を上げて昇給しないという報酬制度の下で、55歳超の教職員が取る行動はただ一つです、つまり、働かない、ということです。全く職務放棄は最悪「解雇」となりますので、ここでも旧社会主義諸国の労働者と同様に、「働いているように見せかける」というのが現実のオプションとなります。私はここで、55歳超の組合員、教職員の方々に対し、「働くな」「働いているように見せかけよ」と主張しているのではありません。インセンティブ構造を無視した給与制度を導入すれば、人は必ず働かなくなるというのは、経済学理論の教えるところであるといっているのです。

6. 54歳以下の教職員への影響

55歳超の教職員が働かないのであれば、そのしわ寄せは55歳以下の教職員に回ることになります。例えば多くの場合55歳以上の職員がその職に就いていた重大かつ重要な役職は54歳以下の教員が担う形になります。55歳以上の教員その仕事に就くことを求めても彼または彼女はこういいでしょう。「なぜ？ 給料もあがらないのに」

人は金のためだけにはたらくのではない、と感じる方もいらっしゃるでしょう。前田事務局長は常々こう言うております。「静岡大学は税金で運営されている国立機関である。だから、国民のために働くべきだ。」(ちなみに、前田事務局長は文科省を退職後、名古屋工大の事務局長に抜擢され、さらに、現在静岡大学でも事務局長の大役を務められ、都合3度の退職金を得ることができる有能な人物です)。

7. 伊東-前田体制の責任と組合の義務

過去4年に渡る伊東学長体制では「国の要請」に応じる形で、退職金を減額し、55歳超の教職員の昇給を停止しました。本年は、給与の総合的見直しにより給与の平均2%の削減(50歳代の教職員では4%の削減)が始まります。伊東学長は組織の長としてリーダーシップを示すことなく、ただ国の方針に従い、前田事務局長が示唆する文科省の意向を伺い、大学運営を行ってきました。このような事態の進展を許した責任の一端は組合の力不足にあります。この組合の力不足から、組合員を含めて、全ての教職員の不利益が帰結することも事実です。組合の挙げる利益が全ての教職員に行き渡ると同様に、組合の不利益もまた全て教職員にもたらされます。

新年の挨拶にしては長く、暗い話しでした。本年もご自愛ください。





絶景に感嘆！！ スキーと温泉の集い

— 2014.12.27~12.29 八方尾根スキー場 —



組合では6季ぶりの白馬、そしてスキー場としては初めての白馬八方尾根に、総勢29人で楽しく行ってきました。

八方は長野五輪の舞台ともなった日本を代表するスキー場です。脚自慢の方には、リーゼンスラロームなどの看板コースを満喫してもらえました。

悪天候が普通の白馬ですが、晴天に恵まれました。特に、1日中滑れる28日(日)は雲ひとつない快晴。多くの皆さんがスキーそっちのけで、最上部に集結。北に白馬三山、南に五竜・鹿島槍という北アルプスの巨人をバックに写真撮影会状態(笑)

好天は私のおかげじゃありませんが、こんなに喜んでもらえとは幹事としてうれしかったです。宿も食事・温泉ともまずまず。ゲレンデに近くて助かりました。

経済的理由からやむなく選んだ朝出発でしたが(従来は夜行)、滑る時間が少なくなっても楽だと好評だったようです。

来季は同日程で赤倉温泉に行こうと思っています。ぜひご一緒しましょう！

参加者からいただいた感想の一部を紹介します。



組合スキーに参加して

組合のスキーに参加するのは3回目でしたが、白馬に行くのは初めてで、パウダースノーのゲレンデと、北アルプスの峰々をはじめとする山々の美しさ、そして温泉を満喫しました。お天気にも恵まれ、これほどの晴天は、シーズン中にも数えるほどしかないということだったので、参加者の日頃の行いがよほどよかったのでしょうか！ 学内(東部、西部)からの参加者どうしはもちろんのこと、懐かしいOBの皆様や、いつもこのツアーに参加しておられる皆様との交流もとても楽しく、充実したひとときを過ごさせていただきました。

日ごろの運動不足がたたって、最終日はかなり足腰がガタガタになりましたが、スキーのためにも、もう少し常日頃の鍛錬を心掛けたいと思います。

いつもこの企画のためにお骨折りくださっている根本先生と吉村さんに心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。



独身時代に來ていた八方尾根に來れて、懐かしさ満喫

林間コースを滑らせた娘も、楽しく滑れて満喫
スキーに來るとガンガン滑るのみだったのが、街も散策できて新鮮さも味わい、天気にも恵まれ3日間いい時間を過ごしました。



出発が朝、近年ではめずらしいツアーとなりました。

2日目は雲なし、風なし、雪質よし、最高のスキー日よりでした。遠くの間々も全部見ることができ、感動しました。特に今回は、オリンピックのコース等も体験でき、大変良い思い出になりました。

根本先生、吉村さん、谷先生、本当にありがとうございました。

来年の赤倉を楽しみにしています。

あたたかく、楽しいバスツアーありがとうございました。

年末ということで、時間とるの大変でしたが、参加してよかったです。

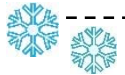
2日目の天気、すばらしかったです。

散策もできてよかったです。

2014年の最後を飾るに相応しいスキーでした。誰に感謝したら良いのか、それは言うまでもなくいつも私たちを快く受け入れてくださっている『静岡大学教職員組合「スキー愛好の会」』でしょう。

白馬は初めてでしたが、絶好の天候の中、1日で2日分滑ったという感じ。翌日が降雪で休日にしたくらいです。

来年は赤倉と聞きました。今度は妻も連れて、ぜひ参加したいと今から期待しています。ありがとうございました。



よかった よかった
実に よかったです。
ただ、それだけです。
根本先生、御苦労様でした。



八方尾根スキー場に行って

今シーズン初めてのスキーでしたが、八方尾根の頂上からみた山々の景色はとてもきれいで、滑るのも2倍楽しかったです。ゲレンデも広く、雪もよく、天気もよく、少し寒かったけど、行ってよかったと思いました。本当に楽しかったです。来年も来れるかな？



本年も組合スキーに便乗して谷研究室のスキー合宿を行うことができました。学生8人と谷の9名の参加でした。根本先生にワガママを言って、指定されたホテルとは別の安いホテルを確保し、本隊とは往復のバスのみでのご一緒でした。また、スキー場も本隊の八方尾根とは別に白馬五竜で滑らせていただきました。日頃の行いのいい参加者のおかげで、白馬でも1シーズン2, 3日しかないという絶好のコンディションの中で滑ることができ、谷研の学生も大満足でした。もちろん夜の呑みニケーションもビール等100本近くを持ち込み大変盛り上がることができました。来年もぜひ参加したいと学生は申ししておりますが、日程的にどうなることや。いずれにしても、根本先生、ありがとうございました。

本年度退職・転出される皆様 ……まずは書記局までご連絡ください……



◆「教職員共済」「全労済」ご加入の方、「労金」ご利用の方

ご退職にあたっての手続き書類をお送りします。必要なお手続きをお願いします。

◆「教職員の退職後の手続きガイドブック」(文部科学省関係機関職員向け：教職員生涯福祉財団発行)

今年度退職予定の方に配布いたします。来年度退職予定の方もご希望がありましたら、お分けします。ご希望の方は書記局まで(部数に限りがあるので先着順とさせていただきます。)